

横山幸次

区政報告
ニュース

780

2020年10月11日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

区政の 評価は 「区政の行財政...」 コロナ対策とくらし応援は不十分... 「財政不足」をいながら大規模再開発は聖域?

区政の 評価は



国会で日本共産党が示したグラフ。昨年10月10%増税以降の家計消費の落ち込み...

今回の議会では、荒川区の2019年度予算執行税金の使い方について審議されました。この決算の認定に日本共産党区議団は反対しました。その主な理由についてお知らせします。

長期の消費不況に追い打ちをかけた昨年10月の消費税増税。今年に入り、新型コロナウイルス感染：今もなお収束も見えない状況が続いています。区は、消費税増税について「社会保障のために必要」「長期的には地域経済に貢献」と容認し続けてきました。しかし増税の影響に加えて、コロナによる

国会で日本共産党が示したグラフ。昨年10月10%増税以降の家計消費の落ち込み... 区は、消費増税について「社会保障のために必要」「長期的には地域経済に貢献」と容認し続けてきました。しかし増税の影響に加えて、コロナによる

「増税容認」では区民に寄り添えませんか...いまこそくらし応援を

区がコロナ危機下の税収減を想定した事業見直し計画 大規模開発でなく福祉、教育、子育て、区内産業応援を

福祉部の対象事業

応急資金貸付
遺族会補助
民間賃貸住宅活用
理美容サービス
高齢者おむつ購入助成
特別永住者等福祉給付金
寝たきり高齢者寝具水洗乾燥消毒
高齢者入浴
在宅介護者マッサージ
敬老週間(長寿慶祝の会)
お年寄り何でも相談窓口
ふれあい絆・活サロン補助
生活保護法外支援
訪問介護自己負担軽減
介護保険移行者ホームヘルプ負担軽減
介護施設費・居住費補助
介護保険制度の趣旨普及
高額療養費・出産費貸付事業

(は2021年度に見直しする)

区は、コロナ危機で財源不足が生じるとして西日暮里駅前再開発の大ホールと南千住旧浄水場跡地購入の中止を前提とした財政フレームを作成しました。また財源不足対策として、区は、全事業の中から約285項目を選定し見直し含めて検討、来年度予算に反映させるとしています。その中には、福祉(福祉部対象事業「下表」)や子育て支援、産業支援など区民生活に密着した多くの施策が含まれています。西日暮里と三河島の再開発も対象事業ですが、区は、本会議で「推進」を表明。財政的な困難が懸念

コロナ関連融資を他区同様のGDP年率換算で28・1%減少、7月の家計消費も前年比7・6%マイナスになるなど、深刻さを増しています。増税容認では、区民の暮らしの大変さに寄り添えませんか。

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。裏面 荒川区のまちづくりについて...など

定例法律相談会
11月2日(月)
横山事務所18時~20時
弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。生活相談は、随時受付しています。TEL&FAX 3895-0504 不在時は、留守電へ、後で連絡します。区役所控室 3802-4627



まちの話 あれこれ
尾久の原公園の管理事務所もハロウィン かぼちゃのランタンに子どもたちも大喜びでした
10月31日はハロウィン。クリスマスとともにいつの間にか日本に定着してきました。しかし今年ハロウィンでハロウィンの大規模イベントの多くが中止のようです。そんな中、尾久の原公園の管理事務所、ハロウィンで使う巨大ポチャのランタンを発見。これは毎年行っているようです。い

つもならコスプレもあってあるそうですが、今年はありません。近くで遊んでいた多くの保育園児が群がって楽しそうに見入っていました。散歩がてら寄ってみてはいかがですか。なお、入り口には、公園の防災機能の案内もあります。この際みなさんも直接確認されてはいかがですか。横山幸次

コロナ禍で大規模駅前再開発推進 まちづくりの優先順位が間違っています



町屋3・4丁目の木密地域

「安全で安心して暮らせる」まちづくりを
木造密集地域の改善・整備事業を最優先

区は、コロナ危機の下でも西日暮里駅前と三河島北地区の再開発を推進するとしています。

両地区合わせて1700戸を超えるタワーマンション、北千住ルミネ規模の巨大商業施設を要する計画を190億円の大ホールを中止しただけで、当初計画通り推進するとしています。果たして3万㎡の商業施設が西日暮里で可能なのでしょうか。

荒川区のまちづくりの最優先課題は「安全で安心して暮らせる街づくり」。不燃化特区地域など木造密集地域の改善整備にこそ集中的に予算をつぎ込むべきです。タワーマンションでなく区民が住み続けることができる公的住宅や住替え住宅、建替

また本当に公共施設としてコンベンションホールが必要なのか、改めて区民の声を聞くことも必要です。

え等への支援の抜本拡充を行うべきです。

その点で税の使い方が大きな問題です。例えば、三河島駅北地区再開発は、合わせて地権者84人、面積1.5ヘクタールに128億円の税投入が予定されています。西日暮里駅前も、地権者78人、面積2.3ヘクタール、補助金250億円となっています。しかし、不燃化特区は、291ヘクタール(区面積の30%)、対象世帯3万8千世帯、約7万人でそのほとんどが

木造密集地域ですが、事業開始以後6年間で使った税金が決算ベースで約24億円程度です。再開発とあまりにも違いすぎます。

災害に強い、住み続けることのできる防災、福祉のまちづくりこそ荒川区がめざすべきです。

西日暮里駅前再開発で1～6階まで3万㎡の商業施設？大丈夫ですか



西日暮里駅前再開発計画では、1社が管理する商業施設を誘致するとしています。約3万㎡は北千住ルミネ(2019年売上312億4300万円)と同規模。開発計画案では、来客数や売上額の見通しなどの基本的検討は行っていないようです。区は「デベロッパーがやれると言っているから大丈夫」という程度の認識です。日暮里駅前再開発は「成田から30分世界の玄関口」地域が活性化すると3棟の再開発ビルを建設しましたが「外から人を呼び寄せ地域を活性化させる」手法は根本的な見直しが必要ではないでしょうか。商業床が埋まらず、区が買い取るようなことがあったら大変なことになります。

区は、「荒川区で最後の駅前再開発のチャンス！」などと言っていますが？

みなさんのご意見をお寄せください。

1位 新宿	3,420,126人
2位 池袋	3,238,814人
3位 渋谷	2,630,830人
4位 横浜	2,240,416人
5位 北千住	1,537,181人
西日暮里は	33位
	390,055人

三河島駅前北地区再開発の補助金(税)	
☆駅前1、5再開発 地権者84人	128億円の補助金を予定
事業開始から完成まで6～7年かけて毎年一定額ずつ補助金が交付される	
不燃化特区整備事業(密集市街地整備事業)	
☆荒川2,4,7丁目48.5ha、町屋尾久地区242.6ha	合計291.1ha(区面積の約30%木造密集)
事業開始後6年間(2013～2018年)	
予算合計	約44億4500万円
決算合計	約28億3200万円(執行額)



今週のデータ 違法な時間外労働が蔓延か 厚労省の調査で約半数の事業所

昨年度、厚生労働省が立ち入り調査した全国3万余事業所のうち、労使協定の上限を超えて残業をさせるなど、違法な時間外労働が確認できたのは全体の半数近くを上ったことが判明。残業をするために必要となる労使協定がない、労使協定の上限を超えて残業させたりするなど違法な時間外労働が確認されたのは1万5593か所と、全体の47.3%に上りました。このうち1か月の残業が過労死ラインと80時間を超えるケースが確認された



(NHKニュースより)
のは5785か所、率にして37.1%、150時間を超えるケースがあったのは730か所、4.7%ありました。

文化・スポーツ施設の利用制限が緩和…

10月10日から文化施設(サンパール荒川・日暮里サニーホール・ムーブ町屋)・生涯学習施設(生涯学習センター・町屋文化センター)・スポーツ施設(荒川総合スポーツセンター・荒川遊園スポーツハウス)のホール及び会議室については、他の区施設(ふれあい館やひろは館等)他の区施設と同じ水準に緩和されました。



- (1) ホール(サンパール荒川・日暮里サニーホール・ムーブ町屋)
 - ・利用者の間隔が十分に保てる程度を確保し、最大定員は通常定員の50%とする(客席の最前列は舞台前から十分な距離をとるため、水平距離2mあける)。
 - ・合唱や運動などが想定される利用は、面積÷4㎡で利用定員を積算。
 - (2) 会議室(サンパール荒川・日暮里サニーホール・ムーブ町屋・生涯学習センター・町屋文化センター・荒川総合スポーツセンター・荒川遊園スポーツハウス)
 - ・会議等の通常利用は、面積÷2㎡で利用定員を積算。
 - ・合唱や運動などが想定される利用は、面積÷4㎡で利用定員を積算。
- 詳しくは、各施設にお問い合わせください。